

【学生サポート制度】

■ サポート制度

本校では、入学者の多様化に対応する教育の質の保証のため、授業計画の明確化やGPA制度、成績評価基準、学習方法等のシラバスへの記載の徹底等を進めています。

新たに始める『学生サポート制度』は、担任を主に修学指導、学生生活相談、就職活動などの面から、受け持ち学生を常時把握して、適切な支援をしていくものです。

今後は学生個人ごとの成績、履修状況、学生情報、就職状況等の情報をトータル的に把握してサポート対応していきます。

また、「GPA制度」導入あたり、その基となる成績評価の妥当性の確保、成績評価基準の厳格な取り組みや全授業のGPA分布状況を全教員に公開して、各教員がより一層の厳格な成績評価を考えるきっかけとなるように取り組みを進めていきます。

■ アドバイザー

本校では、きめ細かい修学指導を行うため、学生一人ひとりに対して責任をもって指導する担当教員がいます。学期当初に行われるガイダンスにおいて紹介されます。有意義な学校生活を行するための様々な指導、アドバイスをを行います。心配なことがあれば訪ねてみましょう。

担当教員で解決できない問題がある場合には、責任をもって適切な窓口に橋渡しを行います。

■ ディプロマポリシーとカリキュラムポリシー

理容科・美容科ともに必修課目、選択必修課目の重みづけを持たせた課目を配置、履修コースの選択などの教育プログラムを示すことで学習させています。

各学科の「学習成果」を身に付けるには、学生の自主性に委ねるだけではなく、ある程度の制約の中、ポリシーに沿った履修を求める必要があります。

各学科の人材育成目標〔ディプロマポリシー〕に基づき、それぞれのカテゴリ毎に修得する知識や技能を何のためにその課目を履修するのか、目標達成したら、どのような知識や技能を修得することができるのかを明確化します。これを学生にカリキュラムポリシーとして示します。

このことで、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーが相互に結び付き、課目ごとの目的・目標を明確にした体系的な編成が実現することができます。